

# 子ども模擬裁判員裁判

平成30年8月7日(火)、京都地方裁判所の大法廷に小学4～6年生の皆さんをお迎えし、模擬裁判員裁判を行いました。  
「強盗致傷事件」を題材にしたシナリオに沿って、小学生の皆さんには、裁判官・裁判員・検察官・弁護人の役を演じていただきました！

## ①模擬裁判の様子



### 審理

裁判官・裁判員・検察官・弁護人それぞれの役割や、裁判の流れを学んだ後、模擬裁判の始まりです！  
それぞれの役になりきって、元気いっぱい演じてくれました！



### 評議

審理の後は2グループに分かれて、裁判官と一緒に評議をしました。  
「証人が怪しい」「指紋があるから犯人に間違いない」など、自分の意見をしっかりと発表してくれました。



### 判決言渡し

評議で考えた判決を、被告人に言い渡します。  
みんなで考えた結果は、「有罪」でした。



## ②裁判官への質問コーナー



模擬裁判の後は、裁判官への質問コーナーです！  
裁判官のなり方や裁判官の仕事についてなど、普段気になっていることや疑問に思ったことなど、たくさんの質問がありました！

## ③自由見学



最後は法廷の自由見学です！  
演じた役以外の席に座ったり、裁判官が着る「法服」を試着して記念撮影をしたり、楽しく見学していただきました。



## 参加者の感想



- 思っていたよりも楽しかった。
- 簡単には決断できないし、みんなで話をして決めていくのはとても難しいと思いました。
- 裁判所に行くことがなく、行っても法廷内に入ることはなかなかできないので、貴重な体験ができてよかった。



京都地方裁判所では、今後も皆様に裁判所を身近に感じていただけるような企画を実施してまいります。  
御参加いただいた皆様、ありがとうございました。